

「加古川中央市民病院人間ドック室における後ろ向き観察研究」について

加古川中央市民病院健康増進・ヘルスケアセンター（以下、人間ドック室）では、人間ドック患者を対象とした下記の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

2016 年 7 月開院以来、年間約 2,000 名の人間ドック受診者があり、これらの受診者の検査成績を集計・分析することで、動向の把握、健康情報を提供することで、人間ドックの精度やシステム改善を図ることを目的としております。

より有用な人間ドック室を構築することは、さらなる受診者を増加させ、健康増進、疾病予防に寄与し、より精度の高い早期発見、早期治療が可能となり、地域住民にとって大変意義深いものと考えられます。

【研究期間】

研究期間：加古川市民病院長承認日～2027 年 3 月 31 日

研究対象期間：2016 年 7 月～2027 年 3 月 31 日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

受診者数、受診者特性、要精査者数（率）、精査疾患別集計、治療対象者数とその結果。人間ドック受診の際に問診で得られた臨床情報（現在または過去にかかっている疾患、服用している薬剤、喫煙、飲酒などの生活習慣に関する情報など）、身体診察・測定所見、検診目的で採取された血液・尿・便検査および、生理検査・放射線検査・病理組織検査・神経心理検査などのデータ。

【個人情報保護の方法】

患者さんの個人データについて、プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は、容易に識別することができないよう、仮名加工情報を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、人間ドック室のカギのかかる保管庫に保管します。研究の目的以外に、研究で得られた患者さんのデータは使用しません。また、研究結果の発表の際にも個人が特定される情報は公表いたしません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：診療録の情報を利用しており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、研究発表後5年に患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 健康増進・ヘルスケアセンター
センター長 末松 正邦
連絡先：079-451-5500